

不易流行

～和賀組社長からのメッセージ～

VOL.11 (2017.2.27)

平成 28 年度スローガン
創業 140 周年に向けて！
みんなで目指す顧客感動経営
～和賀組さんで良かったといわれよう～

株式会社和賀組 代表取締役 和賀幸雄

2月19日 首都圏ふるさと湯沢会が東京霞が関ビルで開催されました。当日はサプライズで菅義偉内閣官房長官もお見えになりました。大変お忙しい中 30 分程でしたが、皆さんのテーブルを廻って一緒に写真を撮っておられました。「18 歳でふるさと秋ノ宮を後にして苦労しましたが、横浜市議会議員に出馬を決意した際はふるさとの多くの仲間はもちろん、横浜にいる同じ地方出身者の多くの方々が応援してくれた。その後議員秘書を経て衆議院議員となり、総務大臣の時に「ふるさと納税」を立案した。官僚の抵抗は激しく、利用しづらい制度になってしまったが、官房長官となってから大幅に改善し現在の仕組みにした。ふるさとを忘れたことは無く、これからも頑張っていく。」とスピーチされました。日本政府の中枢で抜群の安定感を誇る菅官房長官が熱く故郷を語る姿に 200 名ほどの来場者皆が感動していました。



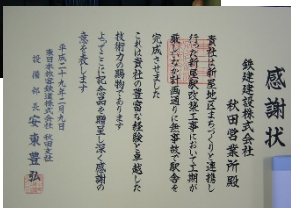
今回の首都圏ふるさと湯沢会は今年で 1 2 回目の開催でした。それまでは合併前の湯沢、雄勝、稲川、皆瀬とバラバラに開催していたようですが、合併を機に合同開催となったようです。今でもテーブルは皆瀬地区とか岩崎弁天地区とかに分かれており、田舎弁丸出しの会話がそこそこで弾んでいました。初代会長は倉内出身の高久さんという方で、現在は皆瀬出身の沼倉さんという方でした。また東成瀬や羽後町を初め県内各地の県人会の皆さんも来賓として参加されていました。稲川生まれの岩崎の和賀と自己紹介させて頂いたところ、岩崎のテーブルでは「俺の兄は直志さんの同級生だ」「毎年東京で岩崎会やっているからお前も来い」とか、東成瀬や皆瀬のテーブルでは「東京に出てくる前に和賀組で働いていた」とか多くの皆さま方に当社とのご縁をお話いただきました。

「全てのステークホルダー（利害関係者）に支持していただける企業活動に徹する」を当社の企業理念にしておりますが、遠く首都圏で暮らしていらっしゃる皆さんの中にも当社とのご縁を大事にして頂いている方がいらっしゃることに感謝の気持ちでいっぱいでした。これからも 140 年の歴史に相応しい企業を目指して参りたいと思います。

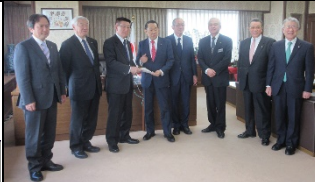
新屋駅改築工事



昨年暮れに鉄建建設様が受注した新屋駅改築工事に当社が施工協力しました。JR からの感謝状贈呈式に招かれました。

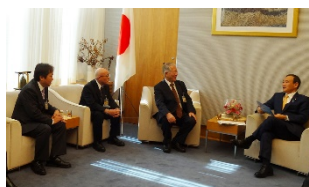


中央省庁要望会



2月20日 日佐竹知事・首長・経済団体

で、翌 21 日は雄勝建設業協会でも官房長官・中央省庁・国会議員に高速・ダム等の陳情活動を行いました。



ナマハゲさんが心配していました

「ウォー！市長を 2 期 8 年で辞めてしまう



湯沢市の斎藤市長だなぁ。山の上から見ても、湯沢の将来は大丈夫なだがあ！！」とナマハゲさんもたいそう心配しておられました。

